

現光寺：「十一面観音坐像」

現光寺の本尊は、「十一面観音坐像」です。「観音」は、世間全体に眼を向け、耳をかざし慈悲を持って我々を救ってくれる菩薩です。ここの観音は、重要文化財に指定されています。13 世紀に造られたと考えられており、観音坐像は、全国でも数体しかないものの一体になります。寄木造りで高さは 74cm あり、人目を引く中性的な優しさをもち、特にその美しさが讃えられています。中でも現光寺の観音はその眼が際立っています。より本物らしくするために、この木像の眼には、水晶がはめ込まれています。